

MINGFANG PEIWU FENXI YU  
YINGYONG

名方配伍分析与应用

南京中医药大学 孙世发◎主编



中原出版传媒集团  
中原传媒股份公司

河南科学技术出版社

# 名方配伍分析与应用

MINGFANG PEIWU FENXI YU YINGYONG

主 编 孙世发

副主编 杭爱武 吴承艳 王剑峰 卫建华 唐伟华  
王九龙 周 静 余侃侃



河南科学技术出版社

· 郑州 ·

## 内容提要

本书收载解表剂、泻下剂、和解剂、清热剂、祛暑剂、温里剂、补益剂、固涩剂、安神剂、开窍剂、理气剂、理血剂、治风剂、治燥剂、祛湿剂、祛痰剂、消导剂、驱虫剂、痲疡剂等中医名方 368 首。每一方剂广泛收集对临床有指导意义的方论资料及临床报道,其中名医方以原文的形式录入,充分展示了历代名医对方剂配伍规律的认识,临床报道以文摘形式收载,亦有部分古代医案在内,旨在借助大量的临床实践来拓展临床思路。每一方剂末都加有按语,简述作者的认识,供读者参考。本书适于广大中医临床、教学、科研工作人员阅读使用。

### 图书在版编目 (CIP) 数据

名方配伍分析与应用/孙世发主编. — 郑州: 河南科学技术出版社, 2019. 5  
ISBN 978-7-5349-9474-6

I. ①名… II. ①孙… III. ①中药配伍 IV. ①R289.1

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2019) 第 039387 号

---

出版发行: 河南科学技术出版社

北京名医世纪文化传媒有限公司

地址: 北京市丰台区丰台北路 18 号院 3 号楼 511 室 邮编: 100073

电话: 010-53556511 010-53556508

策划编辑: 焦 赟

文字编辑: 赵东升

责任审读: 周晓洲

责任校对: 龚利霞

封面设计: 中通世奥

版式设计: 崔刚工作室

责任印制: 陈震财

印 刷: 河南瑞之光印刷股份有限公司

经 销: 全国新华书店、医学书店、网店

开 本: 787 mm×1092 mm 1/16 印张: 43 字数: 1000 千字

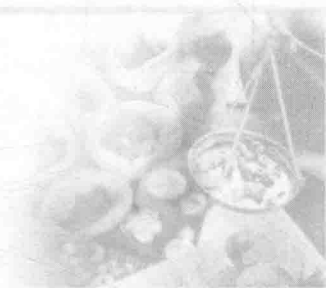
版 次: 2019 年 5 月第 1 版 2019 年 5 月第 1 次印刷

定 价: 198.00 元

---

如发现印、装质量问题,影响阅读,请与出版社联系并调换

# 作者名单

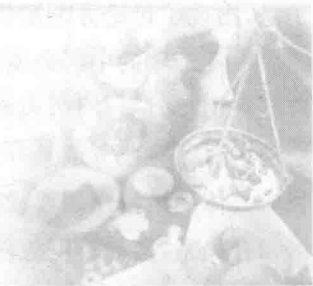


**主 编** 孙世发  
**副主编** 杭爱武 吴承艳 王剑峰 卫向龙 唐伟华 王九龙  
周 静 余侃侃 聂建华

**编 委** (以姓氏笔画为序)  
卫向龙 王九龙 王庆敏 王剑峰 王瑞平 孙世发  
李崇超 吴承艳 余侃侃 张 蕾 杭爱武 周 静  
聂建华 唐伟华

**编写人员** (以姓氏笔画为序)  
卫向龙 马艳霞 王 飞 王 进 王九龙 王庆敏  
王宏伟 王剑峰 王俊壹 王梦熊 王瑞平 毛玲娟  
孔 凡 石松颖 卢佳伟 田 怡 白颖锋 冯静华  
吉 冬 朱 瑾 朱智媛 伍 梅 任威铭 刘旭辉  
许 可 许岳婷 孙 岩 孙 燕 孙世发 孙苑昕  
李 志 李 芮 李 越 李晓建 李雪梅 李崇超  
杨 颖 杨可君 杨亚蓉 吴 坚 吴承红 吴承艳  
吴曦桐 余侃侃 张 健 张 啸 张 蕾 张叶青  
陆 玲 陆红伟 陈相宜 林怡冰 范 俊 范崇峰  
范春兰 杭爱武 季丹丹 季庭竹 金泰懋 周 倩  
周 雯 周 静 周凯伦 周鹏飞 查永嵩 聂建华  
顾张莉 柴 卉 钱丽花 唐伟华 黄修显 章 莹  
程 茜 蔡 云 蔡建伟

# 前 言



中医方剂,是中医治疗疾病的主要形式。中医方剂学,是中医理论与临床相结合的桥梁学科。在历代中医药文献中,收载方剂的书有 2000 种左右,其中绝大多数属于临床著作,在一些中药类著作,甚至是文学类著作中,也记载着一定数量的方剂内容。《名方配伍分析与应用》广收博采,去同存异,对历代方剂内容进行了全面系统的整理和总结,基本囊括了有史以来全部有方名的方剂,堪称方书之最。

考察古今方剂文献,虽然有少数一味药物单用的单方,但大多数是由二味以上药物配合应用的复方。从临床角度看,凡是用以治病的药方均可谓方剂。而从方剂学的角度来说,方剂则应该是二味以上药物配合并赋予一定剂型者。《说文解字》谓:“方,两船相并也。”尽管这是从字面给予的解释,但也可以作为我们理解方剂本意之基础。如何把多味药物配合在一起应用,《黄帝内经》创君臣佐使之说,并成为后世方剂配伍的理论基础。

理论来源于实践,方剂的形成与应用,以及方剂理论的产生和发展,无一不是广大临床医生在长期的医疗实践中,经过大量病例治疗用药的经验积累和升华。没有医疗实践就没有方剂,更没有方剂配伍理论。

人类要生存,就必须与各种伤害、病痛做斗争,正是在这种实际生活和医疗实践中,逐步认识到很多的自然物质,如动物、植物、矿物等的某个品种或某些部位均有一定的解除病痛的功能。经过不断地尝试、不断地总结,积累了许多单味药物在临床治疗疾病的经验,于是,中药学得以诞生。随着中医学理论的进步,人们对疾病的认识也在不断深入,与此同时,人们对于药物的作用和副作用的认识也在日益提高。单味药物不能治疗或者是治疗效果不好的病证,通过多味药物的合用,往往可以取得较好效果;一些有毒药物,通过与其他药物的合用,常可消除毒性或者减轻毒性。通过长期医疗实践的探索和总结,多味药物配合应用的中医方剂得以诞生。

从《五十二病方》《黄帝内经》等早期医书中所载萌芽状态的方剂,到《伤寒论》《金匱要略》等著作中所载的成熟方剂,标志着中医方剂学科已经基本形成。特别是《伤寒论》和《金匱要略》二书所载诸方,被后世奉为制方之圭臬,大家在应用这些经典方剂的医疗活动中,认识不断深入,甚至有所发展,有所突破。在应用古人之方时,医生们在临床实践中观察和总结成方的临床效果,通过具体方剂针对实际病证所产生的反应来探索多味药物配伍同用的内在机制。

于是,出现了讨论方剂配伍理论的专著,即中医方论。

在几千年的中医药发展历史中,人们创制了大量的有效方剂,并在临床医疗保健实践中被广泛应用。时至今日,人们应用中医方剂治疗疾病与传统的应用尚无本质上的区别,即无论是应用古人已有成方或是今人根据临床需要而新创制的药方,均是依据中医理论为指导。针对临床具体病情治疗需要,综合中药的四气五味、升降浮沉、归经、功效主治特性,利用药物间七情和合关系,遵循君臣佐使的组方原则,选择适合的药物配伍成方,以期获得最佳疗效。无论是一张简单或复杂的药方,都反映和体现了中医的基本理论、诊断、治法、中药、方剂、病因病机、病证的相互理论联系。研究方剂的配伍规律,离不开这些传统的理论基础。

方剂来源于医疗实践,方论也是来源于方剂的临床应用之中。历史上的名方,开始都是医生为了治疗某一具体病证而立,可能在一定时间内,人们只能认识到其某种作用,局限于用以治疗某种疾病。随着时间的推移,在实际应用中会发现其新的作用,从多次的偶然中获得了某种必然,扩大了原有的治疗范畴,提高了理论认识。

以《金匱要略》肾气丸为例,该方在原书中出现五处,分别为“脚气上入少腹不仁”“虚劳腰痛,少腹拘急,小便不利”“短气有微饮”“男子消渴,小便反多,以饮一斗,小便一斗”“妇人转胞”。此五种病证,皆为水液代谢失常之候。但肾气丸在大量补阴的药物中加入了补阳药附子、肉桂,旨在鼓舞肾气,增强肾脏功能,现代常用本方治疗男女不育不孕和多种有关生育和性功能低下的病证,其适应范围远远超出了水液代谢障碍。

再如阳和汤,原为治疗阴疽而立,后世不断发现其新的临床适应证,广泛地用于内、外、儿、妇、骨伤、五官等各科的多种病证。不仅用于治疗寒性病证,还用于治疗一些热性病证。20世纪80年代,我就注意了该方的临床应用,也用之治疗过一些疼痛性病证,做过临床报道和临床应用的综述,并撰文剖析了其配伍特点。近年来,阳和汤的报道仍然不少,这些丰富的临床治疗效果的总结,必然会进一步提高并丰富我们对于其原有的理论认识。

正是从以上关于方剂理论和临床应用两个方面考虑,我们在广泛收集资料的基础上,编著成这本《名方配伍分析与应用》。书中内容以方剂配伍和临床应用为中心,希望以历代名医的有关方论来奠定我们的认识基础,并借助于大量的临床应用实践来拓展我们的思路,促进中医方剂配伍理论的研究工作。

今日之医药领域,中医方剂的研究甚为兴隆,之所以如此,是中医方剂能够解除病人的一些痛苦,甚至是能够治疗某些西医治疗困难的病症,因而吸引了人们的探索欲望。但是,纵观近几十年的研究状况,人们总是以西医药的研究方法为先决条件,设计各种被认为最先进的手段和方法来试图揭示方剂的配伍规律,而结果并未如愿,这样的研究成果并没有对中医方剂应用提供有价值的指导,以致在方剂教学课堂上,我们依然在以传统理论向学习者传道解惑。现代科学发展突飞猛进,当代中医理应与时俱进,但是,在尚未建立新的中医理论体系之前,我们只能在原有中医理论指导下进行局部研究,否则,一切将是徒劳。

本书收方以方论和临床应用资料较为丰富者为收选对象。有些方剂的组成相当接近,如麻黄汤、桂枝汤的加减方,为什么要加一味或减一味,这正是中医奥妙之所在,通过学习和研究

历代名医的方论,必将有助于我们对这些方剂的全面认识。

每一方剂,尽可能广泛收集不同观点的方论资料和临床应用报道。名医方论以原文形式录入,文字不作统一;临床报道以文摘形式收载。但限于篇幅,一些应用特别广泛的名方,只选取了部分主要治疗病证。除了配伍理论和临床应用两项外,其他各项内容尽可能地简要。对每一方剂,我们都加了按语,简述本书作者的认识,以供读者参考。

诚然,一首方剂的用药配伍特点,见仁见智,我们也只能尽自己的认识水平,谈一点肤浅看法。我们的愿望是为读者提供较为全面的资料信息,愿一切有意于此者在今后的工作中和我们一道,为探索中医方剂的配伍理论而不懈努力。

孙世发

# 凡 例



一、本书收录名方以历代医家论述较多及临床应用丰富为原则,即使方剂组成药物差异很小,但只要历代医家有较多论述者也予录入。

二、全书按方剂功用分为十九章,每章下列若干小节,每章节均首先以简要文字对其特点加以概括尔后列诸方,组成、主治相关性强的方剂则相邻排列。

三、一方多名的方剂以最早出现且有实质内容之名为本书所用之名,其他的不同名称择其有影响者加括号列入本书所用方名之后。

四、每一方剂内容以方源、处方、用法、功用、主治、配伍分析、临床应用、按语分项收入,无内容之项目从缺。

1. 方源:为一方之原始出处。始载书存在者,注始载书的书名和卷次;始载书已佚者,注现存最早转载书引始载书或创方人。

2. 处方:为始载书之一方所含药物、炮制、用量等内容,炮制内容在药名之前者与药名连写,在药名之后者加括号与后一药分隔,如“炙甘草”“甘草(炙)”。

3. 用法:收录方剂的制剂、剂型、服用方法与用量等内容。如原书无用法,后世其他文献有用法者,则收录后世文献内容并注明来源文献。

4. 功用、主治:分别设项以文献先后为序、去同存异摘收。

5. 配伍分析:收录古今名医对一方之方名释义、组成结构、配伍原理、综合功效、辨证运用、类方比较等论述而有独到见解者。原文精简者,录其全文;文字冗长者,择要选录。

6. 临床应用:选录古今医家运用一方治疗疾病的实际案例,文字简短者全文照录,文字较长者择要摘录。对于现代书刊临床大样本报道,择其用药与原方出入较小者,仅文摘其治疗结果。

五、引文筛选与整理:所有引文资料,均经过编者去同存异,精心筛选。相同的引文,一般从最早的文献中收录;若后世文献论述精辟者,择用后世文献的资料。引文文义不顺或重复者,在不违背原意之前提下,由编者做适当的加工整理。

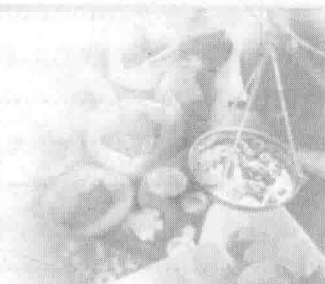
六、药名统一:凡首字不同的中药异名保持原貌,如“瓜蒌”不改“栝楼”,“薯蓣”不改“山药”,“玄胡索”“元胡索”不改“延胡索”。首字相同的中药异名,第二字以下诸字与《中药大辞

典》的正名系同音字者，一律改用《中药大辞典》的正名，如“黄耆”改“黄芪”，“芒消”改“芒硝”，“白藓皮”改“白鲜皮”；若非同音字者，仍保留此异名。凡方名中含有药名者，处理方法同此。

七、文字统一：本书所用简化字，以中国文字改革委员会《简化字总表》(1964年第二版)为主要依据，表中未收入者，不加简化。数词有用汉字和阿拉伯字者，须一方内一致，不作全书统一。

八、文献版本：凡一书有多种版本者，选用善本、足本；无善本者，选用最佳的通行本；其他不同的版本作为校勘、补充。若同一方剂在不同的版本中方名有所差异者，以善本、最佳通行本或较早版本之方名作辞目，其他版本的方名作副辞目。

# 目 录



<b>第一章 解表剂</b> ..... (1)	升麻葛根汤..... (44)
<b>第一节 辛温解表</b> ..... (1)	文蛤汤..... (46)
麻黄汤..... (1)	羌活胜湿汤..... (47)
麻黄升麻汤..... (4)	厚朴麻黄汤..... (49)
麻黄加术汤..... (5)	<b>第二节 辛凉解表</b> ..... (50)
麻黄附子甘草汤..... (7)	桑菊饮..... (50)
麻黄细辛附子汤(麻黄附子细辛 汤)..... (7)	银翘散..... (51)
麻黄连翘赤小豆汤..... (11)	麻黄杏仁甘草石膏汤(麻杏石甘 汤)..... (54)
麻黄杏仁薏苡甘草汤(麻杏苡甘 汤)..... (12)	竹叶汤..... (56)
越婢汤..... (14)	柴葛解肌汤..... (58)
越婢加术汤..... (15)	<b>第三节 扶正解表</b> ..... (59)
越婢加半夏汤..... (16)	人参败毒散..... (59)
三拗汤..... (17)	小续命汤..... (62)
葛根汤(葛根麻黄汤)..... (18)	升阳除湿防风汤(升阳除湿汤)..... (64)
桂枝汤..... (21)	再造散..... (65)
桂枝加大黄汤..... (26)	参苏饮(十味参苏饮)..... (66)
桂枝加芍药汤..... (27)	香苏散..... (67)
桂枝加附子汤..... (28)	桂枝人参汤(桂枝加人参汤)..... (68)
桂枝加黄芪汤(桂枝加黄芪五两 汤)..... (29)	<b>第二章 泻下剂</b> ..... (70)
桂枝加葛根汤..... (30)	<b>第一节 寒下</b> ..... (70)
桂枝麻黄各半汤..... (32)	大承气汤..... (70)
桂枝加厚朴杏子汤..... (33)	小承气汤..... (75)
桂枝去桂加茯苓白术汤..... (34)	调胃承气汤..... (77)
九味羌活汤..... (35)	三一承气汤..... (78)
大青龙汤..... (37)	大陷胸汤..... (79)
小青龙汤..... (40)	<b>第二节 温下</b> ..... (82)
	大黄附子汤(大黄附子细辛汤)..... (82)
	温脾汤..... (84)

三物备急丸 .....	(86)	达原饮 .....	(143)
白散(三物白散) .....	(88)	蜀漆散 .....	(146)
<b>第三节 润下</b> .....	(90)	<b>第四章 清热剂</b> .....	(148)
麻子仁丸(脾约麻仁丸) .....	(90)	<b>第一节 清气分热</b> .....	(148)
济川煎 .....	(92)	白虎汤 .....	(148)
通幽汤(导滞通幽汤、导气通幽汤) .....	(93)	白虎加人参汤(人参白虎汤) .....	(151)
<b>第四节 逐水</b> .....	(94)	白虎加桂枝汤 .....	(153)
十枣汤 .....	(94)	竹叶石膏汤 .....	(154)
大黄甘遂汤 .....	(98)	<b>第二节 清营凉血</b> .....	(157)
舟车丸 .....	(99)	芍药地黄汤(犀角地黄汤、地黄汤) .....	(157)
防己椒目葶苈大黄丸(己椒苈黄丸) .....	(101)	清营汤 .....	(159)
疏凿饮子 .....	(102)	<b>第三节 清热解毒</b> .....	(160)
趁痛丸(控涎丹、妙应丸、子龙丸) .....	(103)	黄连解毒汤 .....	(161)
<b>第五节 攻补兼施</b> .....	(104)	普济消毒饮子(普济消毒饮) .....	(162)
黄龙汤 .....	(104)	升降散 .....	(165)
<b>第三章 和解剂</b> .....	(106)	<b>第四节 气血两清</b> .....	(167)
<b>第一节 和解少阳</b> .....	(106)	清瘟败毒饮 .....	(167)
小柴胡汤 .....	(106)	<b>第五节 清脏腑热</b> .....	(169)
大柴胡汤 .....	(111)	玉女煎 .....	(169)
柴胡加芒硝汤 .....	(115)	甘草汤 .....	(171)
柴胡桂枝干姜汤 .....	(116)	甘露饮子 .....	(172)
蒿芩清胆汤 .....	(118)	左金丸(茱萸丸) .....	(174)
<b>第二节 调和肝脾</b> .....	(120)	龙脑丸(当归龙荟丸) .....	(175)
四逆散 .....	(120)	龙胆泻肝汤 .....	(176)
逍遥散 .....	(123)	白头翁汤 .....	(180)
加味逍遥散(八味逍遥散) .....	(126)	白头翁加甘草阿胶汤 .....	(181)
<b>第三节 调和寒热</b> .....	(128)	芍药汤 .....	(183)
半夏泻心汤 .....	(128)	导赤散 .....	(185)
甘草泻心汤 .....	(132)	泻心汤 .....	(187)
生姜泻心汤 .....	(134)	泻白散 .....	(189)
附子泻心汤 .....	(135)	泻青丸 .....	(191)
干姜黄芩黄连人参汤 .....	(137)	泻黄散(泻脾散) .....	(193)
防风通圣散 .....	(138)	凉膈散 .....	(196)
黄连汤 .....	(140)	黄芩汤 .....	(197)
<b>第四节 截疟</b> .....	(142)	清胃散 .....	(198)
七宝饮 .....	(142)	清脾汤(清脾饮) .....	(200)
		清心莲子饮 .....	(201)
		葛根黄芩黄连汤 .....	(203)

第六节 清虚热 .....	(206)	参苓白术散 .....	(263)
青蒿鳖甲汤 .....	(206)	补中益气汤(医王汤) .....	(266)
秦艽鳖甲散 .....	(207)	玉屏风散 .....	(271)
竹皮大丸 .....	(208)	生脉散 .....	(274)
通关丸 .....	(209)	保元汤 .....	(276)
黄连阿胶汤 .....	(210)	升陷汤 .....	(277)
清骨散 .....	(213)	升阳益胃汤 .....	(279)
第五章 祛暑剂 .....	(215)	人参固本丸 .....	(282)
香薷散 .....	(215)	保胎资生丸(资生丸) .....	(283)
神圣香薷散(香薷饮、四物香薷 饮) .....	(217)	白术散(七味白术散) .....	(284)
益元散(六一散) .....	(218)	异功散(五味异功散) .....	(285)
清暑益气汤(一) .....	(219)	第二节 补血剂 .....	(286)
清暑益气汤(二) .....	(220)	四物汤 .....	(286)
第六章 温里剂 .....	(223)	当归补血汤 .....	(290)
第一节 温中祛寒 .....	(223)	归脾汤 .....	(292)
理中丸 .....	(223)	炙甘草汤(复脉汤) .....	(295)
吴茱萸汤 .....	(226)	六物汤(知柏四物汤) .....	(299)
大建中汤 .....	(229)	第三节 气血双补剂 .....	(300)
小建中汤 .....	(231)	八珍散 .....	(300)
黄芪建中汤 .....	(235)	养荣汤(人参养荣汤) .....	(302)
薏苡附子散 .....	(237)	第四节 补阴剂 .....	(304)
第二节 温经散寒 .....	(238)	地黄丸(六味地黄丸) .....	(305)
当归四逆汤 .....	(238)	六味地黄丸加黄柏知母方(知柏地 黄丸) .....	(309)
当归四逆加吴茱萸生姜汤 .....	(241)	大补丸(大补阴丸) .....	(310)
黄芪桂枝五物汤 .....	(243)	左归丸 .....	(312)
乌头桂枝汤 .....	(246)	左归饮 .....	(314)
甘草附子汤 .....	(246)	一阴煎 .....	(315)
第三节 回阳救逆 .....	(248)	一贯煎 .....	(316)
四逆汤 .....	(248)	二冬膏 .....	(319)
四逆加人参汤 .....	(251)	百合地黄汤 .....	(319)
白通汤 .....	(252)	百合固金汤 .....	(320)
参附汤 .....	(253)	补阴丸(虎潜丸) .....	(322)
回阳救急汤 .....	(255)	三才封髓丹 .....	(323)
干姜附子汤 .....	(256)	第五节 补阳剂 .....	(324)
第七章 补益剂 .....	(258)	肾气丸(金匱肾气丸) .....	(325)
第一节 补气剂 .....	(258)	右归丸 .....	(329)
白术汤(四君子汤) .....	(259)	右归饮 .....	(331)
六君子汤 .....	(261)	天雄散 .....	(332)

黑锡丹 .....	(333)	安宫牛黄丸 .....	(378)
第六节 阴阳并补剂 .....	(335)	至宝丹 .....	(380)
十全散(十全大补汤) .....	(335)	紫雪(紫雪丹) .....	(382)
七宝美髯丹 .....	(337)	牛黄清心丸 .....	(384)
五子衍宗丸 .....	(338)	抱龙丸 .....	(385)
龟鹿二仙胶 .....	(340)	通关散 .....	(386)
第八章 固涩剂 .....	(342)	第二节 温开剂 .....	(387)
第一节 固表止汗 .....	(342)	吃力伽丸(苏合香丸) .....	(387)
当归六黄汤 .....	(342)	行军散 .....	(390)
牡蛎散 .....	(345)	通顶散 .....	(391)
第二节 涩肠固脱 .....	(346)	第十一章 理气剂 .....	(392)
纯阳真人养脏汤(真人养脏汤、养脏汤) .....	(346)	第一节 行气 .....	(392)
四神丸 .....	(348)	天台乌药散 .....	(393)
赤石脂禹余粮汤 .....	(351)	四磨汤 .....	(395)
桃花汤 .....	(351)	半夏厚朴汤 .....	(396)
第三节 涩精止遗 .....	(353)	达生散 .....	(399)
金锁固精丸 .....	(353)	良附丸 .....	(399)
桂枝加龙骨牡蛎汤(桂枝龙骨牡蛎汤、龙骨汤、桂枝牡蛎汤、龙骨牡蛎汤) .....	(355)	金铃子散 .....	(400)
第四节 固崩止带 .....	(357)	枳术丸 .....	(401)
固本止崩汤 .....	(357)	枳实薤白桂枝汤 .....	(402)
完带汤 .....	(358)	厚朴七物汤 .....	(403)
第九章 安神剂 .....	(361)	厚朴温中汤 .....	(404)
第一节 滋养安神 .....	(361)	厚朴生姜半夏甘草人参汤 .....	(405)
天王补心丹 .....	(361)	瓜蒌薤白白酒汤 .....	(406)
甘草小麦大枣汤(甘麦大枣汤) .....	(365)	柴胡疏肝散 .....	(408)
酸枣汤(酸枣仁汤) .....	(367)	旋覆花汤 .....	(410)
第二节 重镇安神 .....	(369)	越鞠丸 .....	(412)
朱砂安神丸 .....	(369)	紫苏饮 .....	(414)
神曲丸(磁朱丸) .....	(371)	暖肝煎 .....	(416)
桂枝甘草龙骨牡蛎汤 .....	(373)	橘核丸 .....	(417)
桂枝去芍药加蜀漆牡蛎龙骨救逆汤 .....	(374)	橘皮枳实生姜汤 .....	(418)
柴胡加龙骨牡蛎汤 .....	(375)	第二节 降气 .....	(419)
第十章 开窍剂 .....	(378)	三子养亲汤 .....	(419)
第一节 凉开剂 .....	(378)	定喘汤 .....	(421)
		紫苏子汤(苏子降气汤) .....	(423)
		丁香柿蒂汤 .....	(424)
		旋覆代赭汤 .....	(425)
		橘皮竹茹汤 .....	(429)
		奔豚汤 .....	(431)

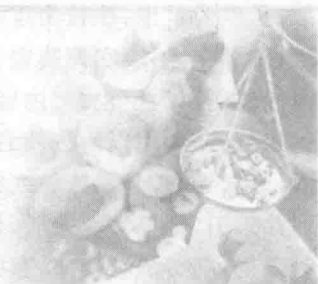
桂苓五味甘草汤	(432)	第二节 平息内风	(488)
<b>第十二章 理血剂</b>	(434)	天麻钩藤饮	(488)
第一节 行血	(434)	羚角钩藤汤	(489)
艾附暖宫丸	(434)	镇肝熄风汤	(491)
失笑散(断弓弦散)	(435)	大定风珠	(493)
生化汤	(437)	地黄饮(地黄饮子)	(495)
温经汤	(440)	阿胶鸡子黄汤	(498)
当归散	(443)	<b>第十四章 治燥剂</b>	(500)
当归芍药散	(444)	第一节 轻宣外燥	(500)
血府逐瘀汤	(448)	杏苏散	(500)
少腹逐瘀汤	(451)	桑杏汤	(501)
会厌逐瘀汤	(453)	清燥救肺汤	(502)
身痛逐瘀汤	(454)	第二节 滋养润燥	(505)
补阳还五汤	(455)	地黄饮子	(505)
抵当汤	(458)	百合知母汤	(506)
复元活血汤	(460)	麦门冬汤	(507)
活络效灵丹	(462)	沙参麦冬汤	(510)
神验胎动方(催生神妙佛手散、神 妙佛手散、芎归散)	(464)	养阴清肺汤	(511)
桃仁承气饮子(桃仁承气汤)	(465)	琼玉膏	(512)
通窍活血汤	(466)	增液汤	(513)
第二节 止血剂	(468)	<b>第十五章 祛湿剂</b>	(515)
十灰散	(468)	第一节 燥湿和胃	(515)
小蓟饮子(小蓟汤、小蓟饮)	(470)	平胃散(天下受拜平胃散、神效平 胃散)	(515)
四味丸(四生丸)	(472)	藿香正气散(正气散、藿香正气 汤)	(517)
柏叶汤	(473)	干姜人参半夏丸	(520)
理血汤	(473)	不换金散(不换金正气散)	(521)
黄土汤	(474)	六和汤	(522)
<b>第十三章 治风剂</b>	(477)	茯苓泽泻汤	(523)
第一节 疏散外风	(477)	葛花解醒汤	(524)
大秦芫汤(秦芫汤)	(477)	第二节 清热祛湿	(525)
川芎茶调散	(479)	二妙散	(525)
风引汤	(480)	八正散	(526)
玉真散(玉真丹、玉正散、玉贞散)	(482)	三仁汤	(529)
牵正散	(483)	甘露消毒丹	(531)
活络丹(小活络丹、追风活络丹、 小活络丸)	(485)	连朴饮	(533)
消风散	(486)	茵陈蒿汤	(533)
		大黄硝石汤	(536)

- 栀子大黄汤 ..... (537)  
 茵陈五苓散 ..... (538)  
 易黄汤 ..... (540)  
**第三节 利水渗湿** ..... (541)  
 五皮散(五皮饮) ..... (541)  
 五苓散 ..... (542)  
 四苓散 ..... (546)  
 防己茯苓汤 ..... (547)  
 防己黄芪汤(黄芪防己汤) ..... (548)  
 栝楼瞿麦丸 ..... (551)  
 猪苓汤 ..... (552)  
**第四节 温阳化湿** ..... (556)  
 甘草干姜茯苓白术汤(甘姜苓术汤) ..... (556)  
 茯苓甘草汤 ..... (558)  
 茯苓桂枝甘草大枣汤 ..... (559)  
 茯苓桂枝白术甘草汤(苓桂术甘汤) ..... (560)  
 实脾散 ..... (563)  
 真武汤(玄武汤、固阳汤、真武丸) ..... (565)  
 鸡鸣散 ..... (569)  
**第五节 祛风胜湿** ..... (571)  
 术附汤(白术附子汤) ..... (571)  
 桂枝附子汤 ..... (572)  
 桂枝芍药知母汤 ..... (574)  
 独活寄生汤 ..... (575)  
 蠲痹汤 ..... (578)  
**第十六章 祛痰剂** ..... (580)  
**第一节 燥湿化痰** ..... (580)  
 二陈汤 ..... (580)  
 温胆汤 ..... (583)  
 十味温胆汤 ..... (586)  
 大半夏汤 ..... (588)  
 小半夏汤 ..... (589)  
 小半夏加茯苓汤(半夏茯苓汤、小半夏茯苓汤) ..... (590)  
 木防己汤(防己桂枝汤) ..... (591)  
 甘遂半夏汤 ..... (593)  
 四兽饮 ..... (595)  
 生姜半夏汤 ..... (595)  
 半夏汤 ..... (596)  
 半夏干姜散 ..... (597)  
 导痰汤 ..... (598)  
 治痰茯苓丸(指迷茯苓丸、指迷丸) ..... (598)  
 射干麻黄汤 ..... (599)  
**第二节 清化热痰** ..... (601)  
 小陷胸汤(陷胸汤) ..... (601)  
 竹沥达痰丸(竹沥丸) ..... (604)  
 滚痰丸(沉香滚痰丸、礞石滚痰丸) ..... (605)  
**第三节 温化寒痰** ..... (608)  
 半夏麻黄丸 ..... (608)  
 苓甘五味姜辛汤(五味细辛汤、苓甘味姜辛汤) ..... (609)  
 皂荚丸 ..... (610)  
 泽漆汤 ..... (611)  
**第四节 润燥化痰** ..... (612)  
 金水六君煎 ..... (613)  
 清化膏 ..... (614)  
**第五节 祛风化痰** ..... (615)  
 止嗽散 ..... (615)  
 半夏白术天麻汤(白术半夏天麻汤) ..... (617)  
**第十七章 消导剂** ..... (620)  
**第一节 消食导滞** ..... (620)  
 保和丸 ..... (620)  
 木香槟榔丸 ..... (622)  
 中满分消丸 ..... (623)  
 枳实导滞丸(导气枳实丸) ..... (624)  
 桂枝生姜枳实汤(桂枝枳实汤) ..... (625)  
 紫霜丸 ..... (625)  
**第二节 消痞化癥** ..... (626)  
 大黄廑虫丸 ..... (626)  
 枳实槟榔丸(枳实连槟丸) ..... (629)  
 桂枝茯苓丸(夺命丸、牡丹丸、夺命

丹、桂心茯苓丸、仙传保命丹、 安攘丸) .....	(629)	冲和仙膏(冲和膏) .....	(651)
海藻玉壶汤(海藻消瘿汤) .....	(632)	神仙解毒万病丸(太乙玉枢丹、太 乙紫金锭) .....	(652)
鳖甲煎丸 .....	(633)	阳和汤 .....	(652)
<b>第十八章 驱虫剂</b> .....	(636)	阳和解凝膏(阳和膏) .....	(655)
化虫丸 .....	(636)	小金丹(小金丸) .....	(656)
乌梅丸 .....	(637)	四妙勇安汤 .....	(657)
甘草粉蜜汤 .....	(640)	苦酒汤(鸡子汤、半夏苦酒汤) .....	(659)
肥儿丸 .....	(642)	苇茎汤 .....	(659)
理中安蛔汤 .....	(642)	葶苈大枣泻肺汤(泻肺汤、葶苈大 枣汤) .....	(662)
<b>第十九章 痈疡剂</b> .....	(644)	大黄牡丹汤 .....	(663)
五味消毒饮 .....	(644)	肠痈汤(瓜子汤、薏苡瓜瓣汤) .....	(666)
神仙活命饮(仙方活命饮、真人活 命饮) .....	(646)	薏苡附子败酱散(败酱散) .....	(666)
太乙神丹(紫金锭、玉枢丹) .....	(649)	排脓汤 .....	(668)
竹叶黄芪汤 .....	(650)	排脓散 .....	(669)

## 第一章

# 解表剂



外邪伤人，首先犯表。所谓表证，即是邪未入深。《内经》曰“其在皮者，汗而发之”，是历代医家运用解表类方剂的理论基础。《儒门事亲》有论云：“风、寒、暑、湿之气，入于皮肤之间而未深，欲速去之，莫如发汗。”因此，解表的主要途径是通过发汗而实现的，故解表类方剂又称为发汗剂。

《素问·阴阳应象大论》曰：“善治者，治皮毛，其次治肌肤，其次治筋脉，其次治六腑，其次治五脏。治五脏者，半死半生也。”可知，解表类方剂在中医临床上具有治早防变的重要意义。所谓表证，并非感冒一病，但凡六淫邪气侵犯，病情位于体表，均当以解表剂以治之，如水肿、风湿等。

解表类方剂多半通过发汗而起效，因此，阴液亏虚，正气不足，以及病位在里等，一般不宜使用。如必须运用，则当务必通过辨证论治，对方剂进行加减化裁，以曲应病机，防止变异。

## 第一节 辛温解表

辛温解表剂具有发散风寒之功，是解表之常法，适用于外感风寒表证，常见恶寒发热、头身疼痛、鼻塞、咳嗽、脉浮而紧等症，常用麻黄、桂枝、荆芥、防风、苏叶等辛温解表药为主组方，并常配以散寒止痛、止咳平喘、温肺化饮等药。

### 麻黄汤

【方源】《伤寒论》

【处方】麻黄(去节)9g 桂枝(去皮)6g 甘草(炙)3g 杏仁(去皮尖)9g

【用法】水煎，温服。覆取微似汗，不须啜粥，余如桂枝法将息。

【功用】发汗解表，宣肺平喘。

【主治】外感风寒，恶寒发热，头身疼痛，无汗而喘，口不渴，舌苔薄白，脉浮而紧。现用于流行性感冒、支气管炎、支气管哮喘、某些皮肤疾病等具有上述症状者。

【配伍分析】

1.《伤寒明理论》：《本草》有曰：轻可去实，即麻黄、葛根之属是也。实为寒邪在表，腠理坚实，荣卫胜，津液内固之表实，非腹满便难之内实也。《圣济经》曰：汗不出而腠密，邪气胜而中蕴，轻剂所以扬之，即麻黄、葛根之轻剂耳。麻黄味甘苦，用以为君者，以麻黄为轻剂而专主发